

みんなでつくる園の未来!

保育ナビ

2025
JUNE
〈3/12〉

6



特集

心理学と統計学に基づき、
自分・仲間を理解する

ディグラム
性格診断で
人材育成

子どもと日常の保育の見方が変わる
事例から学ぶインクルーシブな保育
子どもの好きなことを探そう

エコロジカルな園庭へ
再生のための実践ゼミ
すべては豊かな土から
～土について知ろう～

持続可能な未来を切り拓く
変化する時代の経営戦略
園長先生のお困りごと③
採用が本当に厳しい

2025年度は、保育と子どものおもしろさを伝え、
ワクワクを広げる内容を読者にお届けします。

『保育ナビ』の使い方

読む

まずは、自分で読みます。回覧したりして、園内でも各自で読みます。



語り合う

読んだ記事をもとに、園内で「雑談」をしたり「研修」をしたりしてみましょう。



保育の質の向上へ

読み、話すことで、園内で学び合い・語り合いが生まれ、保育の質が高まります。



【今月のおすすめ】

園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。



園長



主任



学年リーダー



マークのついているコーナーでは、園内で話し合うためのお題・ワークを用意しています。職員会議や園内研修などで活用ください。



マークのついているコーナーではワークシート等のダウンロードができます。右の二次元コードからアクセスしてください。



マークのついているコーナーでは、関連動画があります。

『保育ナビ』は、編集委員がサポートしています。

秋田喜代美（学習院大学）

浅井幸子（東京大学）

大方美香（大阪総合保育大学）

大豆生田啓友（玉川大学）

北野幸子（神戸大学大学院）

古賀松香（京都教育大学）

境 愛一郎（共立女子大学）

汐見稔幸（東京大学名誉教授）

砂上史子（千葉大学）

松井剛太（香川大学）

無藤 隆（白梅学園大学名誉教授）

矢藤誠慈郎（和洋女子大学）

敬称略 50音順

編集委員から読者の皆さんへ応援メッセージを
月替わりで配信します。詳しくはP32へ！

『保育ナビ』が伝えたいこと

見落としていた 課題に取り組んでみる

6月になると、年度当初の慌ただしさがなくなり、今まで見落としていた保育や職場の課題に気付くことがあるかもしれません。特集では、心理学と統計に基づいた「ディグラム性格診断」を取り上げているので、自分や仲間の理解を通じてより良い職場づくりに活用できます。ほかにも、様々なコーナーをパラパラとめくりながら、今気になる課題に取り組むヒントを探してみたいかがでしょうか。

——『保育ナビ』編集部

巻頭

フレーベルのことば 汐見稔幸 小西貴士

特集

主 心理学と統計学に基づき、自分・仲間を理解する
**ディグラム性格診断で
人材育成** …4

木原誠太郎



園紹介

園のかたち2025 …16

認定こども園 風の丘（千葉県松戸市）

注目テーマ

主 子どもと日常の保育の見方が変わる
事例から学ぶ
インクルーシブな保育 …20

若月芳浩

リ 保育実践から読み解く
「安心と挑戦の循環」 …26

松井剛太

主 園の未来を握るリスペクト型マネジメント
みんながワクワクする
多機能化と地域共創 …28

大豆生田啓友

主 小学1年生の授業を拝見！
～学びを通してつながりを理解する …30

無藤 隆 片岡麻梨子

聞くと視野が広がる
編集委員からのメッセージ …32

浅井幸子

保育内容

3・4・5歳児
遊びが育つ保育
保育者の役割 …34

田代幸代

0・1・2歳児
保育者のセンス・オブ・ワンダー
子どもの心を豊かに育むために …36

井桁容子

リ 保育が変わると計画が変わる
やってみよう！**子どもの姿ベースの
指導計画** …38

大豆生田啓友 佐伯絵美

**エコロジカルな園庭へ
再生のための実践ゼミ** …42

小西貴士 ポール・スミザー

リ 保育環境 知らないと損！
遊びが10倍豊かになる
砂場づくり …46

笠間浩幸

Information …49

人材育成

主 若手育成のヒントに！
保育者養成校の今 …50

和田美香

職員みんなで考える
保護者支援10のポイント …54

浅井拓久也

国の動き

国の動きを読む！
研究者の目2025 …56

矢藤誠慈郎

園経営

持続可能な未来を切り拓く
変化する時代の経営戦略 …58

桑戸真二 柳 修二

主 予防のために知っておきたい
事故につながる
12のポイント …60

脇 貴志

エッセイ

保育ナビエッセイ
保育とわたし …62

西 隆太郎

特集

心理学と
統計学に基づき、
自分・仲間を
理解する

ディグラム 性格診断で 人材育成

人材育成で大切なのは、個性に合わせたアプローチ。まずは「ディグラム性格診断」で、自分や仲間の性格を知ることから始めてみませんか。一人ひとりが自分の強みを最大限に発揮でき、前向きに業務に向かえるようになるための、かかわりのヒントになるはずです。

編集協力／こんぺいとぶらねっと イラスト／ナカムラチヒロ



監修／
木原誠太郎

(ディグラム・ラボ株式会社)

電通やミクシィでマーケティングを担当し、様々な企業のマーケティングコンサルティングに携わる。2013年、ディグラム・ラボ株式会社を設立。心理学×統計学で人間の本音を分析し、カウンセリングするプログラム「ディグラム」の研究を進める。

ディグラム診断とは

ディグラム診断とは心理学と統計学をもとに、ディグラム・ラボが開発した性格診断ツール。心理学の有名な診断の1つであるエゴグラムによる指標と、全国 37 万人以上の人から採取したアンケートデータや診断データをもとに、人間の性格や行動パターンをタイプ分けしている。本来は 31 タイプで分けているが、今回は 9 タイプで紹介。

ディグラム
性格診断で
わかる

性格⑨タイプ

診断は
ここから →



1

アイデアマン
タイプ

→P.7



2

アクティブ
リーダータイプ

→P.8



3

コツコツ
バランスタイプ

→P.9



4

ムードメーカー
タイプ

→P.10



5

こだわり
タイプ

→P.11



6

パワフル
タイプ

→P.12



7

のほほん
舵取りタイプ

→P.13



8

ストイック
インドアタイプ

→P.14



9

ロジカル
エリートタイプ

→P.15





子どもと
日常の保育の
見方が変わる

事例から学ぶ インクルーシブな保育

近年、インクルーシブ保育の取り組みについて国からの後押しが活発になっています。そこで、本連載では発達障害のある子どもの保育について、特別な方法ではなく、普段の保育の中で小さなことから変えていく「インクルーシブな保育」の考え方、実践について、事例を通して提案します。



第1回 子どもの好きなことを 探そう

監修・執筆 若月芳浩
(玉川大学、四季の森幼稚園)

イラスト/近藤えり



【テーマ予定】

- 6月号 子どもの好きなことを探そう
- 9月号 保育者自身が変化してみよう
- 1月号 いろいろな連携をしてみよう



連載のはじめに

インクルーシブ教育と インクルーシブな保育について

インクルーシブ教育 について

インクルーシブという言葉を最近
は様々な場で聞くことが増えている
と思います。例えばインクルーシブ
公園についても聞かれるようになり

ました。インク
ルーシブ公園と
は、障害の有無
や年齢、性別、
国籍などに関係
なく、みんなが
楽しく遊べる公
園のことです。

文部科学省は
2012年に
「共生社会の形
成に向けたイン
クルーシブ教育
システム構築の

ための特別支援教育の推進（報告）」
を示しました。「障害者の権利に関
する条約」（障害者の権利や基本的
自由を保障し、尊厳を尊重すること
を目的とした国際条約。2014年
に批准）の第24条によれば、インク
ルーシブ教育システム（inclusive
education system、署名時仮訳…
包容する教育制度）とは、人間の多
様性の尊重等の強化、障害者が精神
的及び身体的な能力等を可能な最大
限度まで発達させ、自由な社会に効
果的に参加することを可能とするこ
の目的の下、障害のある者と障害の
ない者が共に学ぶ仕組みであり、障
害のある者が「general education
system」（署名時仮訳…教育制度一
般）から排除されないこと、自己の
生活する地域において初等中等教育
の機会が与えられること、個人に必
要な「合理的配慮」が提供される等

が必要とされています。

インクルーシブな保育は 包み込むような保育

大切なことは、エクスクルージ
ョンと言われる「排除」がなされない
社会や学校等を作ることです。エク
スクルージョンの対語がインクルー
ジョンです。日本語では包摂・抱擁な
どと訳されますが、今回の企画の意
図から考えると、障害の有無にかか
わらず、一人ひとりを「包み込む」
意味合いをもっていいのです。イン
クルーシブ保育と記載すると、障害
のある子どもの保育のために、何か
新しい方略や保育方法があると思わ
れる可能性があるため、昨今は「イン
クルーシブな保育」と強調してい
ます。「な」を入れることによって、
包括的な、包み込むような保育をイ
メージしています。

困っているのは
子どものほう...



インクルーシブな 保育のために

子どもの内面の理解で大切な 「好きなことを探す」視点

困っているのは 障害のある子ども自身

インクルーシブな保育では、特別な方法や仕組みを作ることではなく、障害の有無にかかわらず、個々の乳幼児の特性を丁寧に理解したうえで、

日々の保育の中でどのような保育を実践する必要があるかについてしっかりと検討し、対応することが必要になります。今ある保育を個々の乳幼児の思いや要求や要望に合わせていくことが可能であれば、特に見直す必要

はないのですが、障害のある子どもが園に存在すると、「大変!」どうやって活動に参加させればいいのか」「集団に入るのが難しいよね」などとネガティブな意見が多く聞かれます。

確かに困っているのは保育者かも知れませんが、それ以上に障害のある子ども自身が困っている可能性もあるのです。この視点の変換はとても重要で、乳幼児の困っていることが理解できる大人や保育者の視点が何よりも大切なのです。そして、子どもとかわりながら内面を理解する時に大切なことが「好きなことを探す」視点です。

大人でもそうですが、自分の好きなことを周囲の人や身近な人がわかってきている状態は、安心感が醸成されている可能性があります。逆に、自身の好きなことや興味関心を

● インクルーシブなマインドとは ●

インクルーシブな保育を実現するためには、各保育者のインクルーシブなマインド(若月の造語)がとても大切です。簡単に言えば、多様性を受け入れる心をもっていることです。園では障害のある子どもだけでなく、外国人、医療的ケア児、対応が難しい保護者など、多様な人とかわる必要があります。そのような人と出会った時に、差別的な対応まではしないにしても、拒否的な気持ちをもっている場合、必ず相手に伝わります。一方、インクルーシブなマインドをもっている人は、寛容さを持ち、相手を受け入れる気持ちをもっています。

否定的に見られていると、心がざわついてしまい、不安定な気持ちになったり、自分自身を素直に表現できなくなったりしてしまうのです。この気持ちを乳幼児に当てはめて考えれば、好きなことを探すことと、嫌いなことを理解することの重要性が見えてくるのです。



エピソード①

「幼稚園なんか大っ嫌い」

多動性の高いS君に 担任は強い焦燥感

入園前に自閉スペクトラム症の診断を受け、3年保育で幼稚園に入園したS君は、多動性が高く、保育室

にいることはできません。入園式の時も着席ができず、お母様の困惑した姿があり、周囲の保護者からも「大変な子」との第一印象。始業後クラスに入らないS君に対して担任の先生は強い焦燥感かられる日々です。

そんなある日、担任の先生は、帰りの会に出るためにS君を抱っこして保育室に連れていきました。クラスの活動にようやく参加できるかと期待しましたが、先生が絵本を読んでいる間に保育室から出て行きました。近くにいたフリーの先生が手をつないで保育室に入れようとしたのですが、拒否的な反応が強く、大泣きしてしまつたのです。保護者が迎えに来て、ようやく落ち着いてきたS君が母親に語った第一声が「幼稚園なんか大っ嫌い」でした。

主任の提案で見えたこと

保育が終わった後に担任の先生は、どんなアプローチが必要なのか、フリーの先生、主任の先生と話し合いをしました。担任の先生は落ち込みながら自信をなくした表情。主任の

先生が、明日から保育室に入れることから始めるのではなく、S君の好きなことを探してみようと提案すると、はつとした担任の先生は、S君の姿に好意的な対応をするなかで、電車が好きなことを見えてきました。ここからが関係性の変化です。

● 実践のヒント ●

園の保育によっては、活動に参加するか否かが子どもの評価につながる場合が多くあります。しかし、障害のある子どもは、特定の場や時間が決められていること自体に拒否的な姿を見せる場合があります。そのような時は、活動をさせることを優先する発想を一度外して子どもの理解を深める必要があります。

エピソード②

好きなことが安定感を生み出す

S君の好きな電車から 広がる世界

園ではICTをフルに活用して、子どもの興味関心に応じて様々な画像を検索し、印刷して保育室に

掲示したり、遊びに活用したりしています。乗り物の図鑑が好きなS君は、ほとんどの電車の名前を知っていました。そこで、担任の先生がタブレットでS君の知らない電車を発見するとS君はかなり興奮気味です。

そんな電車を印刷して、保育室にS君コーナーの壁面を作ってみました。ほかの子どもも電車に関心がある子どもが多く、S君の知識の深さに感心している姿がありました。帰りの時間にS君の好きな電車を話題にしたことによって、S君の存在はクラスの中で大きく変化したのです。

担任の先生は、子どもの思いを理解しないで保育室にいることだけを強要していた自分のかかわりを深く反省し、個々の乳幼児にとって好きなこと探しがいかに大切かを実感したのです。その後、S君は段ボールを使って電車や駅を作るなどして遊び、車掌さんの帽子も作りました。周囲の子どももとても興味をもって保育室の中に電車の世界が広がってきたのです。

担任の先生は、子どもの「やりた

い」が実現できる保育を実践することとは、障害の有無にかかわらず、インクルーシブな保育の基礎基本になると気付かされました。特別な保育ではなく、日々の保育の質的な向上とインクルーシブな保育は連動していることに気が付いたのです。

実践のヒント

タブレットなどのICT機器を保育の時に活用できると、画像の検索や子どもの好きを発見するヒントが生み出されます。子どもにさせることについては賛否がありますが、保育を豊かにするためにはとても役立つ場合があります。もちろん予算など必要ですが、園で検討してみてもいいでしょう。

今月のお題

子どもの「やりたい」ことが 実現できる環境は整っていますか？

保育室などの環境の中で、製作が好きな子どもがいれば製作コーナーの設置、運動的なことが好きな子どもがいれば身体を動かす環境の設置など、子どもの「やりたい」ことが実現できる環境を整えてみましょう。乳幼児の深い理解と環境構成の変化は関連します。

見直しの視点

☐ 乳幼児の理解は保育の原点

理解の手法はいろいろとありますが、子どもの内面や行動の意味が見えない時は写真や動画を活用することが重要です。意味が見えない時に、園内の職員に撮影を依頼し、保育が終わった後に数名で観ることによって、新たな視点が生まれる可能性があります。

☐ 障害特性と個々の特性

障害のある子どもには、ほかの子どもにはないような特性がある場合があります。いわゆる常同行動（くり返し行われる行動）など、意味が見えづらい場面に出合います。丁寧にかかると意味が見える場合もあります。一緒にやってみるのも1つのかわりです。

☐ 1日の保育の流れは子どもの思いに沿っていますか？

忙しい保育、課題活動の多い保育、忙（せわ）しない保育では先生方の思いも子どもの思いも忙しい状況に追い込まれます。障害のある子どもにとっては苦手な状況です。少しでも時間の配分やルーティンを見直してみませんか。

※チェックシートは『保育ナビ』公式サイトからもダウンロードできます。

『保育ナビ』編集部からのお知らせ

公式サイトや SNS で保育最新情報をチェック!

『保育ナビ』は公式サイト や SNS でも様々な情報を配信しています。
より早く、より詳しい情報のためにぜひともチェックしてみてください。

公式サイト



YouTube



Facebook



Instagram



保育ナビ

本コーナーでは新しい時代の幼児教育・保育を考えていくために押さえておきたい、国の動きを解説します。執筆は矢藤誠慈郎先生（和洋女子大学）、大方美香先生（大阪総合保育大学）が隔月で担当します。

国の動きを読む！ 研究者の目 2025

こども家庭庁 編

今月のテーマ

保育政策の

新たな方向性について

今月のポイント

2025年度から2028年度末を見据えた保育政策は、質の高い保育、全てのこどもの育ちと子育て家庭の支援、業務改善を軸に推進

2024（令和6）年12月20日

にこども家庭庁から「保育政策の新たな方向性」持続可能で質の高い保育を通じたこどもまんなか社会の実現へ」が公表されました。この全体像を概観します。

概要

人口減少に対応しながら「こどもまんなか社会」の実現を図るため、2025（令和7）年度から2028（令和10）年度末を見据えた保育政策は、待機児童対策を中心とした「保育の量の拡大」から、

「1. 地域のニーズに対応した質の高い保育の確保・充実」と、「2. 全てのこどもの育ちと子育て家庭を支援する取組の推進」に政策の軸を転換することとしています。

また「3. 保育人材の確保・テクノロジーの活用等による業務改善」を強力に進めて、制度の持続可能性を確保することとしています。

全国どこでも、保育所等が「専門的な」保育を提供し、その機能を最大限発揮することで、「全ての」こどもの育ちを保障し、安心して子育てできる環境の確保が実

現されるよう、国・自治体・保育現場等の関係者が政策の基本的な方向性と具体的な施策について認識を共有し、緊密に連携・協働して、取り組みを強力に推進することが目指されています。

保育政策 3つの柱

1. 地域のニーズに対応した

質の高い保育の確保・充実

「（1）市区町村による地域のニーズに応じた保育提供体制の確保」では、地域の課題に適時に対応し、待機児童が発生しない体制を確保する「①地域の課題に応じたきめ細やかな待機児童対策」、地域における統廃合や規模の縮小、多機能化等の計画的な取り組みを促進し、人口減少地域等にお



執筆 矢藤誠慈郎
（和洋女子大学）

※本記事中では、こども家庭庁の資料に合わせて「こども」と表記しています。



ける持続可能な保育機能の確保を進める「②人口減少地域における保育機能の確保・強化」、また「③公定価格における地域区分の見直し」が進められます。「(2) 保育提供体制の強化（職員配置基準の改善等）」では、保育の安全性と保育の質の確保・向上のため、4・5歳児、3歳児、1歳児の職員配置基準の改善、テクノロジーや幅広い人材の活用等、保育の提供体制を強化します。「(3) 保育の質の確保・向上、安全性の確保」では、保育人材の育成や保育の質の確保・向上のための地域における体制の整備を進めるとともに、虐待や不適切な保育、事故等の防止・対応や災害への対応力を強化し、保育の質の確保・向上と安全性の確保を図ることとして、巡回支援の推進や、保育士等の養成・研修の充実、質の評価・改善の推進等が目指され、また虐待や不適切な保育の防止・対応、性暴力防止対策、事故等

の防止・対応、保育所等における防災機能・対策の強化が図られます。

2. 全てのこどもの育ちと子育て

家庭を支援する取組の推進

「(1) こども誰でも通園制度の推進」として、同制度を2025（令和7）年度に制度化（地域子ども・子育て支援事業として各自自治体の判断で実施）、2026（令和8）年度に給付化（各自自治体で実施）して、就労要件を問わず全てのこどもの育ちと子育て家庭を支援します。「(2) 多様なニーズに対応した保育の充実」として、障害児・医療的ケア児等の保育所等での受け入れ強化や病児保育等について、専門職や専門機関と連携しながら充実を図り、こどもや子育て家庭の多様なニーズに対応したインクルーシブな保育の提供体制を確保し、包括的な暮らし・育ちの支援を推進します。「(3) 家族支援の充実、地域のこども・子育て支援の取組の推進」では、保

育所等の利用児童の保護者等に対する子育て支援や、地域のこどもや子育て家庭を支援する取り組み、「はじめの100か月の育ちビジョン」に基づく施策を進め、地域全体でこども・子育て家庭を応援・支援していく環境を整備します。

3. 保育人材の確保・テクノロジーの活用等による業務改善

上記の政策を進めるうえでのインフラ整備のため、「(1) 保育士・幼稚園教諭等の処遇改善」として、処遇改善とともにモデル賃金や人件費比率等の見える化が進められます。「(2) 保育人材の確保のための総合的な対策」として、働きやすい職場環境づくり、新規資格取得と就労の促進、離職者の再就職・職場復帰の促進に取り組めます。「(3) 保育の現場・職業の魅力発信」の一層の推進を図られ、「(4) 保育DXの推進による業務改善」も推進されます。

今後を注視したいと思います。

子ども学の源流を次世代につなぐ 『幼児の教育』2025年春号発売中

日本で最も長い歴史をもつ「幼児教育研究誌」です。今年創刊124年を迎えた『幼児の教育』。倉橋惣三の理念をはじめ、様々な視点で子ども学の源流を見つめてきました。

2025年春号は表紙、中面デザインがリニューアルされ、より親しみやすくなりました。『幼児の教育』編集長の刑部育子先生による巻頭言、西隆太郎先生、宮里暁美先生などの編集委員による連載など、保育を豊かにする情報が満載です。

「幼児の教育 2025年春号」の内容（一部抜粋）

- 特集** 保育の日々を新しく考える 1 一人ひとりっていうけれど
- 実践** 私の保育ノート 子どもたちの世界を広げる役割
- 連載** 保育を見る眼（1）——自分の眼で見るとのこと
- シリーズ** 子どもが暮らす場所を訪ねて
- 視点** OMEP 世界大会タイ・バンコク訪問記
- 探究** 異なる視点を持つ他者との対話



幼児の教育 2025年春号（季刊誌）

編／お茶の水女子大学

『幼児の教育』編集委員会

定価／1,200円（本体1,091円＋税10%）

64ページ 21×15cm

季刊（4・7・10・1月発行）

商品コード 11212504

『幼児の教育』の購読方法

フレーベル館の代理店・特約店・営業所または、オンラインショップ「つばめのおうち」、Amazon などからどうぞ。

保育ナビ